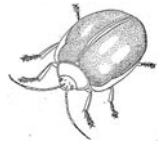


たんぽう


 佐用町船越の南光自然観察村でアオハダトンボ
 (*Calopteryx japonica* Selys) 再発生

東 輝弥

2015年6月14日の佐用町昆虫館における昆虫道場において昆虫館付近のトンボ調査の際に、筆者が千種川本流において1♂を発見採集した。発見場所の近くに棲息場所がないのでしやと思い以前に棲息していた公園に帰りがけによってみた。すると居るではないか。その数5♂7♀、すべて未熟個体であった。

佐用町船越に於いては2009年の集中豪雨による千種川の氾濫以前は多数棲息していた。ところが水害の後河川の整備と公園の整備のために水路が浚渫のために河床が掘削された影響でアオハダトンボだけが棲息しなくなっていた。他のトンボ、ニホンカワトンボ、ヤマサナエ、オジロサナエ等はその後もいた。毎年調査に入っているが発見できなかった。昨年も調査したがだめであった。産卵から成虫になるまでに最短で1年かかるのに突然現れたのは昨年に受精した雌がどこからか飛来して産卵を行ったので今年発生したと思われる。

ちなみに近くにアオハダトンボが棲息している場所は、山を一つ越えた千種川の支流で志文川に棲息しているがその距離は直線で10km離れている。一年だけ無く今後継続して発生してくれることを願う。

○参考文献

東 輝弥, 2010. 兵庫のトンボ分布目録. *Sympetrum Hyogo*, 12: 2-113.

兵庫県生物学会編, 2011. ゆたかな兵庫の自然力, (昆虫館周辺のトンボ). 兵庫県生物学会. 88-90.

(Teruya Azuma 兵庫県加古川市)

